
2008 年度夏学期 第 3 回 物性セミナー

「やわらかい生体分子が形を制御する仕組み」

講師 北尾 彰朗 氏 (東京大学分子細胞生物学研究所)

日時 2008 年 5 月 23 日 (金) 午後 4 時 30 分 ~

場所 16 号館 827

蛋白質などの生体分子やそれらの集合体である生体超分子は、熱揺らぎによって大きく構造変化していると考えられる。また、複数の立体構造が得られている蛋白質の解析からは、環境変化や他の分子との相互作用などの摂動によって約半数の蛋白質が大きく構造変化していることが明らかにされている。分子シミュレーションによって得られた知見を中心に、生体分子・超分子がゆらぎや摂動の中でどのように形と機能を制御しているのか議論する。

○今後の予定

5 月 30 日 白濱 圭也 氏 (慶応・理工)

「ナノ空間中ヘリウム 4 の量子相転移と局在ボース凝縮状態」

6 月 6 日 小松 輝久 氏 (学習院大学理学部)

「非平衡定常状態における定常分布の新しい表現」

6 月 20 日 手塚 真樹 氏 (東大理学系研究科)

「粒子数インバランスのあるフェルミ原子気体の凝縮状態」

6 月 27 日 鈴木 建 氏 (東大総合文化・広域システム)

「宇宙プラズマ中の乱流、波動現象 (仮題)」

7 月 4 日 鈴木 健太郎氏 (東大総合文化・菅原研)

TBA

○物性セミナーのページ：

<http://huku.c.u-tokyo.ac.jp/cgi-bin/FSwiki/wiki.cgi/BusseiSeminar>

物性セミナー世話人：

加藤雄介

福島孝治

簀口友紀

堺 和光

問い合わせ先 (福島) ex. 46513